

自立活動「手話の読み聞かせ」

相模原市立共和小学校



単元（題材）目標

○手話の世界を楽しみ、相手の立場を思いやり、温かい心をもつようにする。

（１）実施時期

令和２年１１月９日（月）

（２）対象（学年等・人数）

特別支援学級児童 21 名（１年 3 名、２年 3 名、
３年 6 名、４年 5 名、５年 2 名、６年 2 名）、
介助員 2 名、手話ボランティア 3 名、小学校
教員 6 名



（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：難聴学級担任 1 名、外部講師：他校図書整理員 1 名

（４）実施内容

事前に、「はらぺこあおむし」のビデオを見せたり、黒板に手話表現を掲示したりして、雰囲気づくりを心掛けた。

- ① キーワード「はらぺこ」「あお」「むし」の手話を教えてもらって、音声なしで手話だけの「はらぺこあおむし」の語りを見る。
- ② 各曜日のグループを作って、担当する曜日の手話単語を覚える。（曜日、数、色、食べ物の名前など）
- ③ 音声付きの手話の読み聞かせを見る。曜日の場面では、講師の先生と一緒に手話をする。（難しそうな手話のところは、ボランティアの力を借りてみんなで取り組んだ）
- ④ 感想を発表する。
- ⑤ お礼に、共和小学校の校歌を手話付きで歌う。

（５）成果

○特別支援学級の全児童が手話に集中して最後まで静かに聞くことができた。いろいろな手話表現に興味をもつことができた。

<児童の感想>

- ・今日の手話の読み聞かせで、音声もないのにどこを読んでいるかが分かった。
- ・りんごやみかんやなしや月～金曜日の手話も知ることができてよかった。

（６）その他

○人権週間に実施して、その模様を校内放送でも流して全校に紹介し、手話への関心を啓発することができた。保護者会でも映像を見せ、理解してもらった。